

平成24年 2月16日

高速増殖原型炉もんじゅのナトリウム漏えい検出器用
サンプリングブロアの停止による運転上の制限の逸脱からの復帰について

発生日時	平成24年 2月16日 (木) 15時12分
発生場所	高速増殖炉研究開発センター 高速増殖原型炉もんじゅ 原子炉補助建物
状況	<p>高速増殖原型炉もんじゅは、低温停止中（A、Cループドレン、Bループポニーモータ運転中）のところ、15時02分、現場にて保守担当課員が2次系BループのRIDサンプリングブロアが停止していることを確認し、15時05分、運転員が現場盤にて2次系のRIDランプが全て消えていることを確認しました。現場を確認したところ、15時11分、2次系BループHD-1、2のRIDサンプリングブロアの停止を確認し、15時12分、ナトリウム漏えい監視機能の停止による原子炉施設保安規定第34条に定める運転上の制限の逸脱を宣言しました。</p> <p>また、15時22分に2次系の全てのRIDサンプリングブロアの停止を確認しています。</p> <p>なお、記録計などによって、11時38分頃に、これらのブロアが停止していたと推定されます。</p> <p>15時46分、現場を確認し、ナトリウム漏えいがないことを確認しております。また、セルモニタおよびCLDによるナトリウム漏えいの監視は継続して実施しており、ナトリウム漏えいの無いことを合わせて確認しています。</p> <p>その後、15時47分にRIDの制御電源のヒューズが切れていることを確認、16時36分に当該ヒューズを交換し、17時14分までに2次系Bループ及び2次メンテナンス冷却系の全てのサンプリングブロアを再起動してナトリウム漏えい監視機能が回復したことから、17時26分に運転上の制限の逸脱からの復帰を宣言しました。</p>
環境への影響	本事象による環境への影響はありません。
原因	調査中です。
備考	<p><参考></p> <ul style="list-style-type: none">・RID：放射線イオン化式検出器（ガスサンプリング型ナトリウム漏えい検出器）・CLD：接触型ナトリウム漏えい検出器